



発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター 〒861-8039 熊本市東区长嶺南1-5-40
TEL: 096-382-0861 FAX: 096-285-7755 <http://1985orange.com>

日替り おれんじかふえのお弁当紹介!!

月	火	水	木	金
2日 BIG なアジフライ 	3日 鶏もものマスタード焼き 	4日 鶏ももの唐揚げ 	5日 豆腐ハンバーグ 	6日 さばの竜田揚げ 
9日 とんかつ 	10日 さばの味噌煮 	11日 油淋鶏 	12日 野菜のロールカツ 	13日 鶏ももの西京焼き 
16日 焼きさば 	17日 照り焼きチキン 	18日 肉ゴロゴロ酢豚 	19日 ポテトコロッケ 	20日 白身魚のフライ 
23日 BIG な白身魚フライ 	24日 トマトソースかけチキンカツ 	25日 クリスマスお楽しみメニュー 	26日 豚肉の生姜焼き 	27日 おろしソースハンバーグ 


 おれんじ かふえ
 熊本市東区长嶺南1丁目5-40

「おれんじ村の村民日記」
ブログでお弁当情報を
掲載しております。



「出会ったすべての方が僕の人生の宝物です」

～学童時代編～

今年、共同連・おれんじ村・エコネットみなまたは共に約40周年を迎えます。今回は、IT部Eの誕生から高校の時までを波乱万丈な人生(前章)をまとめました。



くまもと障害者労働センター 衛藤陽一



🍌 ～誕生から幼少時代～

父と母が結婚して初めての子供で、2人は僕が生まれるのをとても楽しみにしていました。そして、1980年1月22日、僕が生まれた時のことです。私は母のおなかの中から死んだ状態で生まれたそうです。呼吸もなく、40分ぐらい経って生き返ったそうです。母から、「原因は、胎盤早期剥離と妊娠中毒症という状態だったため。」と教えてもらいました。それで、すぐに集中治療室で保育器に入って数カ月間過ごしたそうです。それでもその後は、無事に育ちました。松橋療護園の方にも何度も母子入園をしました。訓練を受けましたが、鉛筆が握れなかったりして、「この子は将来文字を書くことはできないでしょう。」ということ言われたりしたそうです。3・4歳の頃に、発語のことや体のことがあって、「脳性まひ」と診断されました。



🍌 ～小学校時代～

保育園も年長になり、いよいよ小学校入学が近づきました。母は、僕を地域の学校に行かせたいと思っていたそうです。町の保健師さんからも普通学級でみんなといっしょに過ごした方がいいと勧められたそうです。そんな思いで母に連れられて、はじめに大津養護学校を見学に行きました。そして、地域の合志小学校にも見学にいきました。そこで、小学校の校長先生の面談を受けました。母はその場で、「この子を地元のこの小学校に入学させたい。」と訴えたそうです。すると校長先生は、「陽一さんの障害は軽度だし、みんなといっしょにやってくれますよ。」と話を下さったそうです。それで、複式学級ではなくて一般学級に入ることになりました。それと、「陽一さんは、情緒も安定しているから心配はない。」という判断もあったそうです。小学校を見学に行ったときに、玄関に迎えに来て僕の手を取って案内してくれた先生がいました。それが、入学後僕のクラスの1年2組の担任の先生になつ松岡先生でした。その頃、合志小学校には、同じ障害がある2つ上の先輩が普通学級で過ごしていました。そんな先輩の存在が前例としてあったのでスムーズに受け入れられたのだと思います。その後も、僕の2つ後輩も普通学級に入りました。その子には担任の先生と副担任の先生がいました。僕は、担任の先生だけでした。合志小学校



では、いろいろな幼稚園や保育園から入学してきたので、はじめの頃はみんなからいじめがありました。言葉のこととか、体のこととかでした。それを知った先生が僕のことをみんなで勉強することにしてくれました。

僕一人のことですが、みんなの問題として先生たちが真剣に勉強してくれました。そして、みんなといっしょに考える時間を取ってくれました。入学してすぐの頃何回もそんなことがありましたが、時間が経つにつれて少なくなってきました。

小学校には登校班で通学していました。1、2年生の頃は、先輩の人たちがランドセルを持って登校していました。それと、小学校の2年生の頃までは、お母さんが隠れて見に来ていました。学校が付き添いをするようにということにはなかったんですが、母親が心配して時々来ていたようでした。

小学校の時は、保育園時代からのとても仲良しの友達もいて、いつもいっしょに遊んでいました。とっても楽しい日々でした。先生たちもとてもわかってくれて小学校時代は楽しく過ごすことができました。今思えば、1年2組で担任



をしていただいた松岡先生も、5年生の時の担任の高木先生も熊本県人教の研究委員をされていてあらゆる差別をなくす運動に携わっておられた先生方でした。そんな先生方に出会えたことが僕の学校生活を支えてくれたのだと思います。

🍌 ～中学校時代～

中学校に入学する時は、小学校入学の時のように養護学校を見学することもありませんでした。ごく当たり前のように地元の合志中学校に入学しました。特殊学級にしませんかというようなお話しも全くありませんでした。

しかし、地元の3つの小学校から入学してきたので、1年生の頃は、けっこういろいろ言われました。一番悔しかったのが「奇形児」と言われたことでした。その時は、僕は本当に包丁を持って行って相手を刺そうか、爆弾を持って行って学校全部を壊そうかとも考えました。悔しくて悔しくてたまりませんでした。でもそんなとき小学校の同級生が、先生に報告をしてくれて、みんなで取り組んでくれました。その時の友だちの友情がとてうれしかったことは一生忘れません。そんな友達は今でも大切な友達です。



🍌 ～保育園～

母は、それまでずっと地元の会社に勤めに出ていたのですが、自分のことがあったので、それまでしていた仕事を辞めました。3歳の頃、地元の竹迫(たかば)みのり保育園に入園しました。はじめは、保育園の幼児組に入りました。しばらくして、同級生がいるクラスに転級することができました。かすかな記憶のどこかで、みんなといっしょに遊ぶことが増えてとっても楽しかったのを覚えています。子どもは障害がある無しに関わらず、みんなといっしょに遊びたいものですよ!!



🍊 ~高校入試~

中学校3年間はあっという間に過ぎました。3年生になり卒業後の進路を考える時期になりました。友だちもいろんなところに見学に行きました。現実的には、僕の能力で受かる学校を探しました。それで3年生の時、JRで通学出来るので、第一工業（現在の開新高校）を見学に行きました。大津産業高校（現在の翔陽高校）も見学に行きました。でも自転車に乗る時間が長く、自分の体には負担が大きいと思いました。自転車には中学2年生の頃から乗ってはいました。自転車の乗るのは好きです。友だちと自転車でいろんなところに行ったりして遊ぶのは大好きなんですけどね。それでも、まず県立の大津産業高校を推薦入試で受けました。しかし結果は不合格でした。それで、スクールバスがある城北高校を第1志望にしました。一般入試を受けて、結果は合格して、無事に高校生になることができました。城北高校は、スクールバスが家の近くの役場前まで来てくれるので、便利でした。それでも、朝は1本しかないのに遅れないように早起きしました。おかげで早起きの習慣もついて、一度も乗り遅れたことはありませんでした。

🍊 ~高校時代~

中学校までの友達とは別々の高校になってしまったのでさみしかったです。城北高校には、同じ中学校からは同級生はあと4人ぐらいで少し心細かったです。その同級生の一人も1年で学校に行けなくなり退学してしまったのでとても残念でした。それでも新しい友達もできて、高校時代には、母校が甲子園に出場したのでみんなで、応援に行きました。とても楽しい思い出です。城北高校は、山鹿にあるのでとても遠いこともありますが、それでもがんばって卒業することができました。赤点は一度も取ったことはありません。友だちには赤点を取



て、留年した人もいましたけどね。そういえば、この頃は、「たまごっち」が流行っていて、友だちとそればかりしていました。

それと3年生の12月に城北自動車学校に行きました。友だちがみんな車の免許を取ると言い出したので、僕もみんなといっしょに自動車学校に行くことにしました。やっぱり友だちの影響って大きいですね。それでも僕の場合はまずはじめに、松橋の免許センターに行って適性検査を受けなければなりません。障害があるからです。でも、その検査では、「運転免許を取ることができます。MT免許を取るには時間がかかるかもしれないけど、MT免許を取ってみませんか」と言われました。そして、自動車学校に入学しました。そこでは小中学校時代の友達とも再会できて、とても楽しかったです。昼休みは、小中学校時代の友達といっしょにご飯を食べたり、「彼女はできたか?」とか、そんな話をしていました。自動車学校の講習はばっちりでした。卒業検定でスピードの出



し過ぎで1回落ちましたが、あとは順調に卒業しました。僕の免許は、AT車限定ではありません。MT車OKの免許です。ここは僕のこだわりです。



編集後記

こんには。毎日寒いですがね(笑)今回のウイズはIT部Eの学童期時代の事が丸裸に載っているの、正直恥ずかしいです。自分は障害者に生まれてきて、学生時代の頃は、身体がよくならないかなー、みんなのような身体にならないうかーと生活してゆいて、みんなのように動き回ったり、走り回ったり、階段を2・3段ジャンプしてかけ登ったりかけ下ったりして僕もやりたいのになーと思い、そして、チャリであっこのち行き友達と遊びに行きたいなーと思っちゃいました。チャリは中学2年に友達・先輩・後輩・親の指導で乗れるようになりました。感謝しかありません。やはり、友達っていいものですよ。

3月はホワイトデーの時期です。自分用に、家族用に、職場におれんじ村のホワイトデーギフトはいかたでしようか?ご注文。お待ちしております。

